



インフラ建設時の安全管理のための計測機器と警報システム  
普及・実証・ビジネス化事業  
オープンセミナーを開催

2026年3月19日  
国際協力機構（JICA）ベトナム事務所

2026年3月19日「インフラ建設時の安全管理のための計測機器と警報システム普及・実証・ビジネス化事業」の枠組みを通じ、【ハノイ土木大学】において、【インフラ建設時の安全管理のためのオープンセミナー】を実施しました。

本事業は開発途上国が抱える社会課題の解決に貢献することを目的とした実施される「中小企業・SDGs ビジネス支援事業」において、株式会社東横エルメス（神奈川県海老名市）から提案のあったもので、2024年より実施されています。

ベトナムでは急速な経済発展に伴いインフラ整備が進む一方、工事現場における安全管理が不十分なために建設中の事故が発生しています。

本事業では、株式会社東横エルメスがハノイ土木大学（HUCE）と協力し、特に事故が多発している大規模掘削工事の現場を HUCE キャンパス内に再現。安全管理に有用な多段式傾斜計・ひずみ計などの製品による安全管理計測と、計測結果を用いた安全管理体制の構築へ向けた実証実験を行いました。

セミナーでは、HUCE、建設省（Ministry of Construction）、ベトナム水資源大学、インフラ関連の民間企業、JICA などの関係者が参加した。

株式会社東横エルメスから、本事業の成果報告とベトナム関係機関の事業への協力に対する御礼、HUCE からはプロジェクトの効果についての発表がありました。

株式会社東横エルメスは発表の中で「本事業において、安全管理に有用な計測を行うことが出来た。今後も、ベトナムの建設現場における安全管理体制の構築を行いたい」と報告しました。

また、参加者からは「実証計測施設に設置したセンサー以外の多種のセンサーも含め、ベトナムへ本格的な導入に期待している」といった声も寄せられました。株式会社東横エルメスは、引き続きベトナムの建設現場における安全管理体制の構築を目指した事業展開を進めていく予定です。

JICA は引き続き、中小企業・SDGs ビジネス支援事業を通じてベトナムの社会課題



解決に関する取り組みに貢献してまいります。

---

お問い合わせ: JICA ベトナム事務所 広報班 関 里緒菜

Tel: (+84-24) 3831 5005(内線 125)E-mail: Seki-Riona@jica.go.jp